

# 助詞ネ／サの機能と用法

言語学・応用言語学専門分野

1LT14096R

2014（平成 26）年入学

豊村未来

2018（平成 30）年 1 月提出

## 要旨

助詞ネ／サは終助詞としての働きがよく知られているが、文末・句末以外の文節末に付き、語勢を整えたり、感動を高めたりする働きも持つ。このような働きをする助詞を間投助詞として終助詞と区別する考え方もある。日常会話において頻繁に使用されているにも関わらず、これらの助詞について深く考察している研究論文は少ない。本論文は、このような働きをする助詞ネ／サに着目し、その機能と用法について考察したものである。あってもなくても文全体の意味には大きな影響を与えず、ネであってもサであってもその働きは変わらないと考えられてきた助詞ネ／サであるが、容認度調査の結果をもとに分析を行ったところ、その使われ方の違いを明らかにすることができた。また、助詞ネ／サの持つ独自の性質についても考察を行った。

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 先行研究 .....	2
2.1. 伊豆原 (2011) .....	2
2.2. 小野・中川 (1997) .....	2
2.3. 郡 (2016) .....	3
3. イントネーション型の分類.....	4
4. 助詞ネ／サの容認度調査.....	5
5. 前接要素 .....	6
5.1. 感動詞＋ネ／サ .....	6
5.2. 副詞＋ネ／サ .....	8
5.3. 助詞＋ネ／サ .....	10
5.3.1. ガ＋ネ／サ .....	10
5.3.2. テ＋ネ／サ .....	12
5.3.3. ト＋ネ／サ .....	15
5.3.4. ケド＋ネ／サ .....	16
5.3.5. その他の助詞＋ネ／サ .....	17
5.4. 接続詞＋ネ／サ .....	18
5.4.1. 選択の接続詞＋ネ／サ .....	18
5.4.2. 逆接の接続詞＋ネ／サ .....	20
5.4.3. その他の接続詞＋ネ／サ .....	21
6. 助詞ネ／サの性格.....	23
7. おわりに .....	24
8. 参考文献 .....	25
9. 付録 .....	26

## 1. はじめに

終助詞としての働きを持つ助詞の中には、句末・文末以外の文節にも付くことのできる助詞がある。ヨ・ナ・サ・ネなどの助詞は、文中の文節末に付き、語勢を整えたり、感動を高めたりする働きを持つ。

- (1) a. もしもヨ、本当に幽霊がいたらどうする？
- b. これはナ、私が自分の畑で育てたカブだ。
- c. 本当はサ、昨日言うつもりだったんだ。
- d. すごくたくさんの人がネ、集まってたんだよ。

このような助詞を、間投助詞として終助詞と区別する考え方もある。森田（2007）によると、間投助詞は、対聞き手意識から発する念押しのための助詞であるため、会話文で用いられるものと考えられている。

本論文では、現代の日常生活において男女ともに比較的によく用いられるネとサに注目して、その機能と用法について考察する。ネとサは、名詞、副詞、助詞、助動詞、接続詞など、種々の語に付くことができる。そして、前述のように、語勢を整えたり、感動を高めたりなどの働きをするが、文全体の意味には大きな影響を与えず、ネやサを付けずとも問題は生じない。その点が、文の成立に深く関係している終助詞とは大きく違うところであり、終助詞と間投助詞を区別する立場の根拠の一つにもなっている。

ネとサに多少のキャラクターの違いはあれど、基本的に入れ替えても大きな違和感はない。

- (2) a. まるで {ネ/サ}、夢のようだったよ。
- b. でも {ネ/サ}、良いところもあると思うよ。
- c. 友達に {ネ/サ}、送ってもらったんだ。

しかし、以下に示すように、ネとサを入れ替えると容認度が下がる場合がある。

- (3) a. なるほど {ネ/\*サ}、君の言う通りだ。
- b. 私が家に帰りますと {ネ/\*サ}、娘が出迎えてくれるんです。
- c. 突然なんです {ネ/\*サ}、ご報告したいことがあります。

容認度調査を元に、このような違いがどのような場合に生じるのかを明らかにする。

## 2. 先行研究

本節では、間投助詞についての考察を行っている研究論文について簡単にまとめる。

### 2.1. 伊豆原 (2011)

伊豆原 (2011) によると、終助詞と間投助詞の区別については、「文末に用いられるものを終助詞、文中・文末に用いられるものを間投助詞とする立場」、「文の終わりに来る助詞を終助詞とし、終助詞を終助詞と間投助詞相当に下位分類する立場」、「文末で用いられるものを終助詞、文中で用いられるものを間投助詞とする立場」、「文末に置かれるものを終助詞、文中に置かれるものを終助詞の間投用法とする立場」、「終助詞、間投助詞を分けない立場」がある。当初は所属に重なりがなく二分されていたが、次第に重なりを当然と見る方向へ変化していったとし、その過程には「聞き手の発見」が深く関係していることを指摘している。

また、「聞き手」を意識するということは、「表現内容を聞き手にもちかける」、「聞き手の注意を促す」、「聞き手を意識しながら話していることを示す」、「聞いてほしいと訴えかける」、「対聞き手意識から、語勢を強めたり、感情を込めたりする」ことであるとまとめている。

そして、間投助詞には、終助詞にない談話上の機能があることから、終助詞と間投助詞はそれぞれ別のものであるとする立場を提案している。

### 2.2. 小野・中川 (1997)

小野・中川 (1997) では、終助詞と間投助詞を異なる語彙とし、その理由として、終助詞は聞き手不在発話で用いることができるのに対し、間投助詞は聞き手不在発話で用いることができないこと、間投助詞には「よね」「よな」のような複合形は存在しないこと、終助詞の発話直前には、話し手の記憶に従要素の表す命題が存在するのに対し、間投助詞の発話直前には必ずしも存在しないこと、という3点を挙げている。

そして、「だろうよ」「ぜよ」「ぞよ」という表現の場合、「よ」は終助詞ではなく、間投助詞であるとしている。この場合の「よ」は、直感的に聞き手目当てでない発話には用いられないことと、複合形「よね」「よな」で置き換えると非文になることが理由である。

#### (4) 熱いぜよ。 [小野・中川 1997:3]

小野・中川 (1997) によると、(4)の例文の「よ」は間投助詞となる。同様の理由で「だろうね」の「ね」も間投助詞であるとする。

- (5) a. 太郎は来るか {よ/\*よね}。 [小野・中川 1997:3]  
b. 問題は、本当に彼が来るか {よ/よね}。 [小野・中川 1997:3]

(5a)の場合、「か」は話し手にとって命題の真偽が不明であることを表すもので、後に続く

「よ」は間投助詞である。

(5b)の場合、「か」は客観的に従要素の命題の真偽が不明であることを表し、後に続く「よ」は終助詞でも間投助詞でもあり得る。どちらになるかは文脈によって決まる。

### 2.3. 郡 (2016)

郡 (2016) は、疑問型上昇調、強調型上昇調、平坦調、上昇下降調、急下降調、長い無音調、短い無音調の7つのイントネーション型の分類をもとに、間投助詞がある場合もない場合も含めて、文中の文節末でのイントネーションの使用実態とイントネーション型の使い分けの原理について考察している。

郡 (2016) が提案したイントネーション型の分類は以下のようなものである。

音声的分類		特徴
疑問型上昇調		連続的上昇：上昇区間内でどんどん高くする。
強調型上昇調		段状上昇：直前より一段高く平らに言う。
平坦調		ほぼ平らに言う。
上昇下降調		直前より一段高くした後で下げる。
急下降調		文末が平板型または尾高型アクセントのために末尾モーラが高い場合に、そこから下降させる。
無音調	長い無音調	独自の高さの動きなし。
	短い無音調	

表 1: 郡 (2016) によるイントネーション型の分類

そして、これらのイントネーション型の使い分けには、間投助詞の有無、文法的切れ目の大きさ、談話構造、話者の世代、対話者との関係やフォーマルさなどの言語使用場面、話者の性別といった要因がからんでいるとする。

郡 (2016) によると、疑問型上昇調は、親しい相手に対して使われやすく、質問以外に、呼びかけ表現、声かけ表現、完全には納得や同意をしていないときにも使われる。呼びかけ表現、声かけ表現については、疑問型上昇調を使うことで聞き手の反応を待っているものと見ることができる。この「反応を待つ」という働きが、親しい相手への疑問型上昇調の使用と結びつく。

上昇下降調は発話への注目要求機能が強い。強調型上昇調に比べて下降がある分だけ音声として耳につきやすいので、大きな区切りであることを示すのにより適しており、聞き手から注目されやすくなっている。そのため、いちいち注目を求めながら話すということがしやすい、インフォーマルな場面での使用が多い。上昇下降調には、考えながら言っている感じもある。そのため、文末で使われることが少なく、文中で、文がまだ完結していないことを示すために使われることが多い。

### 3. イントネーション型の分類

これまでの考察では、助詞ネ／サのイントネーションを考慮していなかった。そのため、ネを発音するときとサを発音するときのイントネーションに違いが生じ、それが容認度の差に影響を与えることもあった。また、あるイントネーションでは容認できるが、別のイントネーションでは容認できないという場合もあり、容認できるかどうかの判断を困難にしていた。

文中の文節末に付く助詞は、会話文においてよく現れる。すなわち、助詞ネ／サとイントネーションの関係には強い結びつきがあると考えられる。

先行研究によっても、助詞ネ／サの容認度を調べるにあたって、イントネーションの存在は無視できないという結論に至った。郡（2016）では、7つのイントネーション型を用意し、間投助詞が現れる位置でのイントネーションの使用実態を考察している。

そこで直前より高く発音する H、直前より低く発音する L、直前より高く発音した後に下げる HL、直前より高く発音したあとに下げてまた上げる HLH という4つのイントネーションを用意し、それぞれのイントネーションで助詞ネ／サを発音したときの容認度を改めて調べることにした。

記号	特徴
H	直前より高く発音する。
L	直前より低く発音する。
HL	直前より高く発音した後に下げる。
HLH	直前より高く発音した後に下げてまた上げる。

表 2: イントネーション型の新分類

#### 4. 助詞ネ／サの容認度調査

助詞ネ／サの容認度を調査するにあたり、文中の文節末に助詞ネ／サが付きうる 53 の例文を用意した。そして、ネが付く場合とサが付く場合それぞれの容認度を 1～5 の 5 段階で評価してもらい、点数をつけてもらった。違和感が大きいと感じたら 1、全く違和感がないと感じたら 5 という評価になる。容認度を評価するにあたっては、H、L、HL、HLH の 4 つのイントネーションのうちの 1 つを指定し、そのイントネーションで助詞ネ／サを発音したときの容認度について考えてもらった。

回答は、それぞれのイントネーションごとに 3 人から集め、付けられた点数の平均値を求めた。その結果は表 3～6 と表 9～12 にまとめている。

表 3～6 と表 9～12 は、例文番号、助詞ネ／サの直前の品詞、例文、ネの場合とサの場合それぞれにおける 3 人の回答者によって付けられた点数と 3 つの点数の平均値、助詞ネ／サのうちより容認度が高かった方、ネの場合の容認度の平均値とサの場合の容認度の平均値の差をまとめたものである。

表 7 と表 13 は、H、L、HL、HLH の 4 つのイントネーションにおける、より容認度が高かった方とその容認度の差をイントネーションごとに比較しやすくするためにまとめたものである。

表 8 と表 14 は、H、L、HL、HLH の 4 つのイントネーションにおける容認度の平均値を比較しやすくするためにまとめたものである。

なお、平均値とネの場合の容認度とサの場合の容認度の差は、小数第二位を四捨五入した値を記載している。

容認度調査をするにあたっては、イントネーションの手本となる音声を聴いてもらった上で、特定のイントネーションでネ／サを発音したときの容認度について評価してもらった。例文のみを見せ、ネ／サの直前の品詞などの情報は記載しなかった。例文は執筆者が独自に作成したものである。



## 5. 前接要素

文節末に付くことのできるネ／サであるが、その自由度は高く、感動詞、助詞、接続詞、副詞、名詞など、多くの品詞に付くことができる。本章では、ネ／サの直前の語の品詞に着目し、容認度調査の結果をもとに、その使われ方について考察する。なお、この章で引用している表は、表3～12から必要な部分のみを抜粋したものである。

本章では、容認度を表す記号として、容認度の平均値が1.0、1.3、1.7、2.0のときは「\*」を、2.3、2.7、3.0、3.3、3.7のときは「??」を、4.0、4.3、4.7、5.0のときは「ok」を用いている。

### 5.1. 感動詞＋ネ／サ

感動詞＋ネ／サが成立する例は少ない。そのため、感動詞＋ネか感動詞＋サのどちらかが成立すると思われる感動詞を探し、例文を作成した。容認度調査では、「なるほど」「いや」「ほら」「さあ」「いえ」の5つの感動詞の直後にネ／サが付く場合について調べた。

以下の表は、ネの場合とサの場合のそれぞれにおけるイントネーションごとの容認度の平均値をまとめたものとネとサのうちより容認度が高かった方とネの場合の容認度の平均値とサの場合の容認度の平均値の差をイントネーションごとにまとめたものである。この節以降の他の節でも同様の表を用いて考察する。

ネの場合、HLHのイントネーションのときの容認度が他のイントネーションのときの容認度に比べて低い傾向にある。サの場合は、どのイントネーションにおいても、全体的に容認度が低い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
なるほど {ネ／サ}、君の言う通りだ。	4.7	2.7	4.7	3.0	1.3	1.3	2.3	1.3
いや {ネ／サ}、新しい情報もあるよ。	4.3	3.3	4.0	3.0	2.7	2.7	3.7	3.0
ほら {ネ／サ}、はっきり見えるでしょ。	4.7	4.0	5.0	3.0	3.0	2.7	3.3	1.7
いや {ネ／サ}、それはおかしくない？	3.7	4.3	5.0	3.7	2.7	3.7	3.7	4.3
さあ {ネ／サ}、僕にはよく分からないよ。	5.0	5.0	5.0	3.0	1.0	1.0	1.0	2.3
いえ {ネ／サ}、新しい情報もありますよ。	4.3	4.0	4.7	4.0	1.0	1.0	2.3	2.3

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
なるほど {ネ/サ}、君の言う通りだ。	ネ	3.3	ネ	1.3	ネ	2.3	ネ	1.7
いや {ネ/サ}、新しい情報もあるよ。	ネ	1.7	ネ	0.7	ネ	0.3	ネ・サ	0.0
ほら {ネ/サ}、はっきり見えるでしょ。	ネ	1.7	ネ	1.3	ネ	1.7	ネ	1.3
いや {ネ/サ}、それはおかしくない？	ネ	1.0	ネ	0.7	ネ	1.3	サ	0.7
さあ {ネ/サ}、僕にはよく分からないよ。	ネ	4.0	ネ	4.0	ネ	4.0	ネ	0.7
いえ {ネ/サ}、新しい情報もありますよ	ネ	3.3	ネ	3.0	ネ	2.3	ネ	1.7

ほとんどの場合において、ネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っている。ネの場合の容認度とサの場合の容認度が同じ値になった例文とサの場合の容認度がネの場合の容認度を上回った例文は、**HLH** のイントネーションにおけるものである。

ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差が 2.0 以上であった例文を以下に示す。

- (6) a. なるほど {ok ネ/\*サ}、君の言う通りだ。 (H)  
b. なるほど {ok ネ/??サ}、君の言う通りだ。 (HL)
- (7) a. さあ {ok ネ/\*サ}、僕にはよく分からないよ。 (H)  
b. さあ {ok ネ/\*サ}、僕にはよく分からないよ。 (L)  
c. さあ {ok ネ/??サ}、僕にはよく分からないよ。 (HL)
- (8) a. いえ {ok ネ/\*サ}、新しい情報もありますよ。 (H)  
b. いえ {ok ネ/\*サ}、新しい情報もありますよ。 (L)  
c. いえ {ok ネ/??サ}、新しい情報もありますよ。 (HL)

ネの場合の容認度がサの場合の容認度を大きく上回ったのは、**H**、**L**、**HL** のいずれかのイントネーションに限られており、**HLH** のイントネーションにおけるものはなかった。**HLH** のイントネーションにおいてはネの場合でも容認度が下がってしまうことが原因だと考えられる。(8)の例文における「いえ」と同じく否定の意味を表す「いや」の場合は、「いえ」のときほどの容認度の差は生じなかった。これはサの場合の容認度が比較的高かったためである。

- (9) a. いやね {ok ネ／??サ}、新しい情報もあるよ。(H)  
 b. いやね {??ネ／??サ}、新しい情報もあるよ。(L)  
 c. いやね {ok ネ／??サ}、新しい情報もあるよ。(HL)  
 d. いやね {??ネ／??サ}、新しい情報もあるよ。(HLH)

疑問文においても、サの容認度が比較的高かったため、容認度の差はあまり生じなかった。さらに、HLH のイントネーションの場合はサの容認度がネの容認度を上回る結果となった。

- (10) a. いや {??ネ／??サ}、それはおかしくない？(H)  
 b. いや {ok ネ／??サ}、それはおかしくない？(L)  
 c. いや {ok ネ／??サ}、それはおかしくない？(HL)  
 d. いや {??ネ／ok サ}、それはおかしくない？(HLH)

(11)の例文においては、どのイントネーションにおいても、ネの場合の容認がサの場合の容認度を上回っている。HLH のイントネーションにおいては、ネの場合もサの場合も他のイントネーションのときと比べて容認度が下がっている。

- (11) a. ほら {ok ネ／??サ}、はっきり見えるでしょ。(H)  
 b. ほら {ok ネ／??サ}、はっきり見えるでしょ。(L)  
 c. ほら {ok ネ／??サ}、はっきり見えるでしょ。(HL)  
 d. ほら {??ネ／\*サ}、はっきり見えるでしょ。(HLH)

どのイントネーションにおいてもネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っていたのは、「なるほど」「ほら」「さあ」の感動詞にネ／サが後続する場合であった。感動詞＋ネ／サにおいては、ネとサのどちらがより適しているということとはできないが、いくつかの例文においては、ネの方がサよりも顕著に容認度が高いということが分かった。

## 5.2. 副詞＋ネ／サ

副詞＋ネ／サが成立する例は多い。容認度調査では、「まるで」「いつの間にか」「なんか」「なんだか」「いつだったか」「やはり」「すぐ」「けっこう」の8つの副詞の直後にネ／サが付く場合について調べた。

副詞＋ネの場合でも副詞＋サの場合でも、容認度は高い傾向にある。例文によって、もっとも容認度が高いイントネーションには違いがある。しかし、どの例文においてもネの場合のHLのイントネーションでの容認度が高いことが分かる。また、HLHのイントネーションにおいて容認度がもっとも高くなる例文はない。

ネの場合においてもサの場合においても、容認度が低いイントネーションは例文によって異なる。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
まるで {ネ/サ}、夢のようだったよ。	5.0	3.0	5.0	2.3	4.7	3.0	4.3	2.7
いつの間にか {ネ/サ}、寝ちゃってみたい。	3.7	4.0	5.0	3.0	4.0	4.7	3.7	1.3
なんか {ネ/サ}、雨降りそうじゃない？	3.3	4.3	4.3	3.0	3.3	4.7	5.0	4.0
なんか {ネ/サ}、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	4.0	4.7	5.0	3.0	3.7	4.7	5.0	3.3
なんだか {ネ/サ}、おもしろいね。	3.3	3.7	4.0	2.7	4.7	3.7	5.0	3.3
いつだったか {ネ/サ}、言ってたじゃん？	3.3	4.0	5.0	2.0	4.3	4.0	5.0	4.3
やはり {ネ/サ}、僕の思った通りだ。	4.0	4.0	5.0	3.0	2.7	2.7	2.3	1.0
すぐ {ネ/サ}、泣き出すんだから。	2.0	4.0	3.3	1.7	2.3	3.3	3.0	2.3
本来、なんか {ネ/サ}、その方が脳には良いらしいね。	2.3	3.7	4.7	2.3	3.0	3.3	3.7	2.0
責任が大きいから、けっこう {ネ/サ}、大変なんですよ。	3.3	5.0	5.0	3.7	3.3	4.7	4.7	4.0

ネの場合の容認度とサの場合の容認度は拮抗していて、より容認度が高い方も入れ替わりやすい。

ネの場合、Hのイントネーションでの容認度とHLHのイントネーションでの容認度を比べると、ほとんどの場合Hのイントネーションでの容認度の方が高い。また、Lのイントネーションでの容認度とHLHのイントネーションでの容認度を比べると、Lのイントネーションでの容認度の方が高い。HLのイントネーションでの容認度とHLHのイントネーションでの容認度を比べるとHLのイントネーションでの容認度の方が高くなっている。HLHのイントネーションでの容認度は他のイントネーションでの容認度に比べて比較的低くなっていることが分かる。

サの場合、Lのイントネーションでの容認度とHLHのイントネーションでの容認度を比べると、ほとんどの場合Lのイントネーションでの容認度の方が高い。また、HLのイントネーションでの容認度とHLHのイントネーションでの容認度を比べると、HLのイントネーションでの容認度の方が高くなっている。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
まるで {ネ/サ}、夢のようだったよ。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	サ	0.3
いつの間にか {ネ/サ}、寝ちゃってみたい。	サ	0.3	サ	0.7	ネ	1.3	ネ	1.7
なんか {ネ/サ}、雨降りそうじゃない？	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7	サ	1.0
なんか {ネ/サ}、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	0.3
なんだか {ネ/サ}、おもしろいね。	サ	1.3	ネ・サ	0.0	サ	1.0	サ	0.7
いつだったか {ネ/サ}、言ってたじゃん？	サ	1.0	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	2.3
やはり {ネ/サ}、僕の思った通りだ。	ネ	1.3	ネ	1.3	ネ	2.7	ネ	2.0
すぐ {ネ/サ}、泣き出すんだから。	サ	0.3	ネ	0.7	ネ	0.3	サ	0.7
本来、なんか {ネ/サ}、その方が脳には良いらしいね。	サ	0.7	ネ	0.3	ネ	1.0	ネ	0.3
責任が大きいから、けっこう {ネ/サ}、大変なんですよ。	ネ・サ	0.0	ネ	0.3	ネ	0.3	サ	0.3

ネの場合とサの場合とで容認度に大きな違いはないことが分かる。差が 2.0 以上であった例文を以下に示す。

(12) いつだったか {\*ネ/ok サ}、言ってたじゃん？ (HLH)

(13) a. やはり {ok ネ/??サ}、僕の思った通りだ。 (HL)

b. やはり {??ネ/\*サ}、僕の思った通りだ。 (HLH)

### 5.3. 助詞+ネ/サ

助詞+ネ/サが成立する例文は非常に多い。容認度調査では、カ、ガ、ケド、ダガ、ダカラ、テ、デ、ト、ニ、ハについて調べた。

#### 5.3.1. ガ+ネ/サ

ガ+ネ/サは以下のような例文があった。ネの場合の容認度は高い傾向にある。特に、H、

L、HL のイントネーションのときに高い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
突然なんです {ネ/サ}、ご報告したいことがあります。	4.0	4.7	4.7	2.7	1.3	1.0	2.3	1.0
少ししか話せませんでした {ネ/サ}、彼女のひととなりは分かりました。	3.0	3.3	4.3	3.0	1.0	1.3	1.0	1.0
初対面だが {ネ/サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。	2.7	4.3	4.7	2.0	1.3	2.7	3.3	1.7
妹が {ネ/サ}、年末に帰ってくるんだ。	5.0	5.0	4.7	4.0	4.7	5.0	4.7	4.0
犬より猫の方が {ネ/サ}、飼いやすいと思わない？	4.7	5.0	3.7	2.3	5.0	4.7	3.7	4.0

ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差が非常に大きい例文とほとんどない例文がある。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
突然なんです {ネ/サ}、ご報告したいことがあります。	ネ	2.7	ネ	3.7	ネ	2.3	ネ	1.7
少ししか話せませんでした {ネ/サ}、彼女のひととなりは分かりました。	ネ	2.0	ネ	2.0	ネ	3.3	ネ	2.0
初対面だが {ネ/サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。	ネ	1.3	ネ	1.7	ネ	1.3	ネ	0.3
妹が {ネ/サ}、年末に帰ってくるんだ。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0
犬より猫の方が {ネ/サ}、飼いやすいと思わない？	サ	0.3	ネ	0.3	サ	1.3	サ	1.7

差が 2.0 以上であった例を以下に示す。

- (14) a. 突然なんです {ok ネ/\*サ}、ご報告したいことがあります。 (H)  
 b. 突然なんです {ok ネ/\*サ}、ご報告したいことがあります。 (L)

- c. 突然なんですが {ok ネ/??サ}、ご報告したいことがあります。(HL)
- (15) a. 少ししか話せませんでした {??ネ/\*サ}、彼女のひととなりは分かりました。(H)
- b. 少ししか話せませんでした {??ネ/\*サ}、彼女のひととなりは分かりました。(L)
- c. 少ししか話せませんでした {ok ネ/\*サ}、彼女のひととなりは分かりました。(HL)
- d. 少ししか話せませんでした {??ネ/\*サ}、彼女のひととなりは分かりました。(HLH)

どちらの例文におけるガも、接続助詞のガである。もう一つの接続助詞のガの例文における容認度の差も 2.0 には及ばなかったが、ネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っていた。しかし、HLH のイントネーションにおいては、ネの場合の容認度がサの場合の容認度をわずかに上回っているものの、ネの場合の容認度も低いという結果になっている。

- (16) a. 初対面だが {??ネ/\*サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。(H)
- b. 初対面だが {ok ネ/??サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。(L)
- c. 初対面だが {ok ネ/??サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。(HL)
- d. 初対面だが {\*ネ/\*サ}、俺はすでに君のことが嫌いだ。(HLH)

格助詞ガ+ネ/サにおいては、ネの場合の容認度もサの場合の容認度も高く、ネの場合とサの場合とで大きな差も生じていない。

- (17) a. 妹が {ok ネ/ok サ}、年末に帰ってくるんだ。(H)
- b. 妹が {ok ネ/ok サ}、年末に帰ってくるんだ。(L)
- c. 妹が {ok ネ/ok サ}、年末に帰ってくるんだ。(HL)
- d. 妹が {ok ネ/ok サ}、年末に帰ってくるんだ。(HLH)
- (18) a. 犬より猫の方が {ok ネ/ok サ}、飼いやすいと思わない？(H)
- b. 犬より猫の方が {ok ネ/ok サ}、飼いやすいと思わない？(L)
- c. 犬より猫の方が {??ネ/??サ}、飼いやすいと思わない？(HL)
- d. 犬より猫の方が {??ネ/ok サ}、飼いやすいと思わない？(HLH)

### 5.3.2. テ+ネ/サ

テ+ネ/サは以下のような例文があった。ネの場合、L、HLH のイントネーションのときの容認度が低く、サの場合は、どのイントネーションでも容認度が高い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
クジラって {ネ/サ}、かわいいよね？	4.7	3.0	2.7	1.3	4.7	3.7	5.0	2.7
これって {ネ/サ}、盗撮じゃない？	3.0	3.7	3.0	2.0	4.7	4.7	5.0	5.0
クジラって {ネ/サ}、哺乳類らしいよ。	4.7	3.3	5.0	3.7	4.7	3.3	4.3	3.3
クジラって {ネ/サ}、哺乳類なの？	2.7	3.3	3.0	1.7	4.0	4.0	5.0	4.7
注射って {ネ/サ}、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	3.0	2.7	1.7	1.3	4.7	4.0	5.0	4.7
いったん休んどいて {ネ/サ}、また明日がんばろうよ。	3.0	3.3	2.3	1.3	3.0	4.0	5.0	3.7

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
クジラって {ネ/サ}、かわいいよね？	ネ・サ	0.0	サ	0.7	サ	2.3	サ	1.3
これって {ネ/サ}、盗撮じゃない？	サ	1.7	サ	1.0	サ	2.0	サ	2.7
クジラって {ネ/サ}、哺乳類らしいよ。	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	ネ	0.3
クジラって {ネ/サ}、哺乳類なの？	サ	1.3	サ	0.7	サ	2.0	サ	3.0
注射って {ネ/サ}、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	サ	1.7	サ	1.3	サ	3.3	サ	3.3
いったん休んどいて {ネ/サ}、また明日がんばろうよ。	ネ・サ	0.0	サ	0.7	サ	2.7	サ	2.3

差が 2.0 以上であった例を以下に示す。いずれも HL か HLH のイントネーションとなっている。なお、(19i)は、接続助詞のテであり、それ以外は係助詞のテである。

- (19) a. クジラって {??ネ/ok サ}、かわいいよね？ (HL)  
b. これって {??ネ/ok サ}、盗撮じゃない？ (HL)



- c. これって {\*ネ/ok サ}、盗撮じゃない？ (HLH)
- d. クジラって {??ネ/ok サ}、哺乳類なの？ (HL)
- e. クジラって {\*ネ/ok サ}、哺乳類なの？ (HLH)
- f. 注射って {\*ネ/ok サ}、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？ (HL)
- g. 注射って {\*ネ/ok サ}、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？ (HLH)
- h. いったん休んどいて {??ネ/ok サ}、また明日がんばろうよ。 (HL)
- i. いったん休んどいて {\*ネ/??サ}、また明日がんばろうよ。 (HLH)

疑問文と平叙文を比べてみると、疑問文においては、ネの場合の容認度が低いということが分かる。

- (20) a. クジラって {ok ネ/ok サ}、哺乳類らしいよ。 (HL)
- b. クジラって {??ネ/ok サ}、哺乳類なの？ (HL)
- (21) a. クジラって {??ネ/??サ}、哺乳類らしいよ。 (HLH)
- b. クジラって {\*ネ/ok サ}、哺乳類なの？ (HLH)

(22)の例文は、HL と HLH のイントネーションのときはネの場合の容認度が低いが、H のときの容認度はネの場合もサの場合も非常に高い。

- (22) a. クジラって {ok ネ/ok サ}、かわいいよね？ (H)
- b. クジラって {??ネ/??サ}、かわいいよね？ (L)
- c. クジラって {??ネ/ok サ}、かわいいよね？ (HL)
- d. クジラって {\*ネ/??サ}、かわいいよね？ (HLH)

係助詞テ+ネ/サの疑問文である他の例文を見ると、H のイントネーションの場合は、容認度はあまり高くはない。

- (23) a. これって {??ネ/ok サ}、盗撮じゃない？ (H)
- b. クジラって {??ネ/ok サ}、哺乳類なの？ (H)
- c. 注射って {??ネ/ok サ}、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？ (H)

疑問文ではない、係助詞テ+ネ/サでは、ネの場合とサの場合で大きな容認度の差は生じていない。よって、係助詞テ+ネ/サのとき、疑問文であればサの場合の方がネの場合より

も容認度が高くなるといえる。

### 5.3.3. ト+ネ/サ

ト+ネ/サは以下のような例文があった。いずれも接続助詞のトである。ネの場合においてもサの場合においても HL のイントネーションのときに他のイントネーションのときよりも容認度が高い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
私が家に帰りますと {ネ/サ}、娘が出迎えてくれるんです。	2.7	3.7	5.0	4.3	2.0	2.7	3.0	1.7
こうやって並べると {ネ/サ}、大ききの違いが分かりやすいんだよ。	4.7	4.0	5.0	4.0	3.7	3.3	5.0	4.3

(24)の例文では、どのイントネーションにおいてもネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っている。特に HL と HLH のイントネーションにおいて、ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差が大きい。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
私が家に帰りますと {ネ/サ}、娘が出迎えてくれるんです。	ネ	0.7	ネ	1.0	ネ	2.0	ネ	2.7
こうやって並べると {ネ/サ}、大ききの違いが分かりやすいんだよ。	ネ	1.0	ネ	0.7	ネ・サ	0.0	サ	0.3

- (24) a. 私が家に帰りますと {??ネ/\*サ}、娘が出迎えてくれるんです。(H)  
 b. 私が家に帰りますと {??ネ/??サ}、娘が出迎えてくれるんです。(L)  
 c. 私が家に帰りますと {okネ/??サ}、娘が出迎えてくれるんです。(HL)  
 d. 私が家に帰りますと {okネ/\*サ}、娘が出迎えてくれるんです。(HLH)

同じように接続助詞ト+ネ/サである(25)では、H と L のイントネーションにおいて、ネの場合の容認度がサの場合の容認度を若干上回っているものの、全体的にネの場合の容認度とサの場合の容認度に大きな差は生じていない。(24)の例文では、HLH のイントネーションにおけるサの場合の容認度が非常に低かったが、(25)の例文では非常に高くなっている。

- (25) a. こうやって並べると {okネ/??サ}、大ききの違いが分かりやすいんだよ。(H)

- b. こうやって並べると {ok ネ/?サ}、大きさの違いが分かりやすいんだよ。(L)
- c. こうやって並べると {ok ネ/ok サ}、大きさの違いが分かりやすいんだよ。  
(HL)
- d. こうやって並べると {ok ネ/ok サ}、大きさの違いが分かりやすいんだよ。  
(HLH)

#### 5.3.4. ケド+ネ/サ

ケド+ネ/サは以下のような例文があった。ネの場合もサの場合も H と HLH のイントネーションにおいて他のイントネーションに比べて容認度が若干低くなっている。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
少ししか話せなかったけど {ネ/サ}、彼女のひととなりは分かったよ。	3.0	3.7	4.7	3.0	3.3	3.7	4.0	2.7
だいぶ歩いたけど {ネ/サ}、本当にこの先に店があるの？	3.0	4.7	4.0	1.3	3.3	4.7	5.0	3.7

(26)の例文は、HL のイントネーションのとき、他のイントネーションのときと比べて、ネの場合の容認度もサの場合の容認度も高くなっている。(27)の例文は、L と HL のイントネーションのとき、他のイントネーションのときと比べて、ネの場合の容認度もサの場合の容認度も高くなっている。ネの場合の容認度は、HLH のイントネーションのとき非常に低くなっており、サの場合の容認度との差も大きい。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
少ししか話せなかったけど {ネ/サ}、彼女のひととなりは分かったよ。	サ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	ネ	0.3
だいぶ歩いたけど {ネ/サ}、本当にこの先に店があるの？	サ	0.3	ネ・サ	0.0	サ	1.0	サ	2.3

- (26) a. 少ししか話せなかったけど {??ネ/?サ}、彼女のひととなりは分かったよ。  
(H)
- b. 少ししか話せなかったけど {??ネ/?サ}、彼女のひととなりは分かったよ。  
(L)
- c. 少ししか話せなかったけど {ok ネ/ok サ}、彼女のひととなりは分かったよ。

(HL)

- d. 少ししか話せなかったけど {??ネ/??サ}、彼女のひととなりは分かったよ。

(HLH)

- (27) a. だいぶ歩いたけど {??ネ/??サ}、本当にこの先に店があるの？ (H)  
b. だいぶ歩いたけど {ok ネ/ok サ}、本当にこの先に店があるの？ (L)  
c. だいぶ歩いたけど {ok ネ/ok サ}、本当にこの先に店があるの？ (HL)  
d. だいぶ歩いたけど {\*ネ/??サ}、本当にこの先に店があるの？ (HLH)

### 5.3.5. その他の助詞+ネ/サ

その他の助詞+ネ/サの例文を見ていく。

(28)はカ+ネ/サの例文である。LとHLのイントネーションにおいて容認度が高い。ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差はほとんどない。

(29)はカラ+ネ/サの例文である。どのイントネーションにおいてもサの場合の容認度がネの場合の容認度を上回っているが、ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差は小さい。

(30)はデ+ネ/サの例文である。どのイントネーションにおいてもサの場合の容認度がネの場合の容認度を上回っている。特にHLHのイントネーションにおいて、ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差が大きい。

(31)はニ+ネ/サの例文である。どのイントネーションにおいてもネの場合の容認度とサの場合の容認度の差は小さい。HLHのイントネーションにおいては、ネの場合もサの場合も容認度は下がる。

(32)はハ+ネ/サの例文である。どのイントネーションにおいても、ネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っている。HとHLHのイントネーションにおいては、ネの場合もサの場合も容認度は下がる。

- (28) a. どうすればいいのか {??ネ/??サ}、教えてよ。 (H)  
b. どうすればいいのか {ok ネ/ok サ}、教えてよ。 (L)  
c. どうすればいいのか {ok ネ/ok サ}、教えてよ。 (HL)  
d. どうすればいいのか {??ネ/??サ}、教えてよ。 (HLH)
- (29) a. この花好きだから {??ネ/ok サ}、本当に嬉しい。 (H)  
b. この花好きだから {??ネ/??サ}、本当に嬉しい。 (L)  
c. この花好きだから {ok ネ/ok サ}、本当に嬉しい。 (HL)  
d. この花好きだから {\*ネ/??サ}、本当に嬉しい。 (HLH)
- (30) a. こんなところで {??ネ/??サ}、どうしたの？ (H)  
b. こんなところで {??ネ/ok サ}、どうしたの？ (L)

- c. こんなところで {??ネ/okサ}、どうしたの? (HL)  
 d. こんなところで {\*ネ/okサ}、どうしたの? (HLH)
- (31) a. 友達に {okネ/okサ}、送ってもらったんだ。 (H)  
 b. 友達に {okネ/??サ}、送ってもらったんだ。 (L)  
 c. 友達に {okネ/okサ}、送ってもらったんだ。 (HL)  
 d. 友達に {??ネ/??サ}、送ってもらったんだ。 (HLH)
- (32) a. 人間では {??ネ/\*サ}、鬼には勝てない。 (H)  
 b. 人間では {okネ/??サ}、鬼には勝てない。 (L)  
 c. 人間では {okネ/??サ}、鬼には勝てない。 (HL)  
 d. 人間では {??ネ/\*サ}、鬼には勝てない。 (HLH)

#### 5.4. 接続詞+ネ/サ

接続詞+ネ/サは、逆接、順接、説明、選択、転換に分けて考察した。

##### 5.4.1. 選択の接続詞+ネ/サ

選択の接続詞「それとも」「あるいは」「もしくは」について調べた。ネの場合、サの場合ともに、HLHのイントネーションのときの容認度が比較的高い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
転校生は男かな、それとも {ネ/サ}、女かな。	3.3	3.3	4.0	2.3	3.7	3.7	5.0	4.3
この機会を活かすか、それとも {ネ/サ}、無駄にするか、君しだいでよ。	3.0	4.0	4.7	2.0	2.0	2.7	4.0	2.0
自分じゃ分からないのかな?それとも {ネ/サ}、わざとやってるのかな。	2.7	4.7	5.0	2.3	2.3	4.7	5.0	3.7
あるいは {ネ/サ}、予約済みの人を先に通してくれないかな。	2.7	3.3	3.3	1.7	3.0	2.7	4.3	4.0
九州、あるいは {ネ/サ}、福岡だけのことかもしれない。	3.0	3.7	4.3	2.3	3.0	4.0	5.0	3.3
もしくは {ネ/サ}、もう化粧するのやめようかな。	3.0	4.0	3.7	2.7	3.3	4.3	3.7	4.0

どのイントネーションにおいてもネの場合の容認度とサの場合の容認度に大きな差は生じていない。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
転校生は男かな、それとも {ネ／サ}、女かな。	サ	0.3	サ	0.3	サ	1.0	サ	2.0
この機会を活かすか、それとも {ネ／サ}、無駄にするか、君しただよ。	ネ	1.0	ネ	1.3	ネ	0.7	ネ・サ	0.0
自分じゃ分からないのかな？それとも {ネ／サ}、わざとやってるのかな。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	1.3
あるいは {ネ／サ}、予約済みの人を先に通してくれないかな。	サ	0.3	ネ	0.7	サ	1.0	サ	2.3
九州、あるいは {ネ／サ}、福岡だけのことかもしれない。	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7	サ	1.0
もしくは {ネ／サ}、もう化粧するのやめようかな。	サ	0.3	サ	0.3	ネ・サ	0.0	サ	1.3

差が 2.0 以上であった例文を以下に示す。いずれも HLH のイントネーションにおける例文であった。

- (33) a. 転校生は男かな、それとも {??ネ/okサ}、女かな。 (HLH)  
 b. あるいは {\*ネ/okサ}、予約済みの人を先に通してくれないかな。 (HLH)

しかし、(33a)と同様に「それとも」を使った例文では HLH のイントネーションにおいてもネの場合とサの場合とで容認度にそれほどの差は生じていない。

- (34) a. この機会を活かすか、それとも {\*ネ/\*サ}、無駄にするか、君しただよ。  
 (HLH)  
 b. 自分じゃ分からないのかな？それとも {??ネ/??サ}、わざとやってるのかな。  
 (HLH)

選択の接続詞+ネ/サでは、どのイントネーションにおいても、ネの場合とサの場合とで容認度に大きな差は生じないということが分かった。

### 5.4.2. 逆接の接続詞+ネ/サ

逆接の接続詞「でも」「だけど」「それでも」について調べた。ネの場合もサの場合も全体的に非常に容認度が高い。

例文	ネ				サ			
	H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
でも {ネ/サ}、良いところもあると思うよ。	4.7	4.0	5.0	3.7	4.0	4.7	5.0	4.0
だけど {ネ/サ}、それってあの子のためにならないんじゃない？	5.0	4.7	4.7	3.0	5.0	5.0	4.7	4.0
それでも {ネ/サ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	5.0	5.0	4.7	3.3	5.0	5.0	4.7	4.0

ネの場合もサの場合も非常に容認度が高いため、ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差はほとんど生じていない。

例文	H		L		HL		HLH	
		差		差		差		差
でも {ネ/サ}、良いところもあると思うよ。	ネ	0.7	サ	0.7	ネ・サ	0.0	サ	0.3
だけど {ネ/サ}、それってあの子のためにならないんじゃない？	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.3	サ	1.0
それでも {ネ/サ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7

ネの場合、HLHのイントネーションのとき、他のイントネーションのときよりも比較的容認度が低くなる。

- (35) a. でも {okネ/okサ}、良いところもあると思うよ。(H)  
 b. でも {okネ/okサ}、良いところもあると思うよ。(L)  
 c. でも {okネ/okサ}、良いところもあると思うよ。(HL)  
 d. でも {??ネ/okサ}、良いところもあると思うよ。(HLH)
- (36) a. だけど {okネ/okサ}、それってあの子のためにならないんじゃない？(H)  
 b. だけど {okネ/okサ}、それってあの子のためにならないんじゃない？(L)  
 c. だけど {okネ/okサ}、それってあの子のためにならないんじゃない？(HL)

- d. だけど {??ネ/okサ}、それってあの子のためにならないんじゃない？ (HLH)
- (37) a. それでも {okネ/okサ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。 (H)  
 b. それでも {okネ/okサ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。 (L)  
 c. それでも {okネ/okサ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。 (HL)  
 d. それでも {??ネ/okサ}、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。  
 (HLH)

### 5.4.3. その他の接続詞+ネ/サ

十分な数の例文がなかった接続詞を見ていく。

(38)と(39)は順接の接続詞「それなら」と「それだったら」を使った例文である。「それなら」のときは、HとLのイントネーションにおいては、サの場合の容認度の方がネの場合の容認度よりも高くなっているが、HLとHLHのイントネーションにおいては、ネの場合の容認度の方がサの場合の容認度よりも高くなっている。逆に、「それだったら」のときは、HとLのイントネーションにおいては、ネの場合の容認度の方がサの場合の容認度よりも高くなっているが、HLとHLHのイントネーションにおいては、サの場合の容認度の方がネの場合の容認度よりも高くなっている。ただし、いずれもネの場合の容認度とサの場合の容認度の差はわずかである。

- (38) a. それなら {??ネ/okサ}、みんな納得してくれるだろうね。 (H)  
 b. それなら {??ネ/okサ}、みんな納得してくれるだろうね。 (L)  
 c. それなら {okネ/??サ}、みんな納得してくれるだろうね。 (HL)  
 d. それなら {??ネ/\*サ}、みんな納得してくれるだろうね。 (HLH)
- (39) a. それだったら {okネ/??サ}、みんな納得してくれるだろうね。 (H)  
 b. それだったら {okネ/??サ}、みんな納得してくれるだろうね。 (L)  
 c. それだったら {??ネ/okサ}、みんな納得してくれるだろうね。 (HL)  
 d. それだったら {\*ネ/??サ}、みんな納得してくれるだろうね。 (HLH)

(40)は説明の接続詞を使った例文である。H、L、HLのイントネーションにおいては、ネの場合の容認度もサの場合の容認度も非常に高いが、HLHのイントネーションにおいては、ネの場合とサの場合ともに容認度が若干下がっている。

- (40) a. だって {okネ/okサ}、好きな気持ちは抑えられないんだもん。 (H)  
 b. だって {okネ/okサ}、好きな気持ちは抑えられないんだもん。 (L)  
 c. だって {okネ/okサ}、好きな気持ちは抑えられないんだもん。 (HL)  
 d. だって {??ネ/??サ}、好きな気持ちは抑えられないんだもん。 (HLH)



(41)は転換の接続詞を使った例文である。どのイントネーションにおいても、ネの場合の容認度がサの場合の容認度を上回っている。HLのイントネーションにおいては、ネの場合の容認度とサの場合の容認度の差は特に大きかった。HLHのイントネーションでは、ネの場合とサの場合ともに他のイントネーションのときよりも容認度が下がっている。

- (41) a. では {ok ネ/??サ}、素晴らしい提案をしよう。(H)  
b. では {ok ネ/??サ}、素晴らしい提案をしよう。(L)  
c. では {ok ネ/??サ}、素晴らしい提案をしよう。(HL)  
d. では {??ネ/\*サ}、素晴らしい提案をしよう。(HLH)

## 6. 助詞ネ／サの性格

この節では、助詞ネ／サの性格という観点から、ネの場合の容認度とサの場合の容認度に差が生じる場合について考察する。

まず、丁寧な言葉遣いの際にサは適さないのではないかと考えられる。(42a)の例文を丁寧な言葉遣いにした(42b)の例文では、サの場合の容認度が非常に低くなっている。

- (42) a. 少ししか話せなかったけど {ok ネ／ok サ}、彼女のひととなりは分かったよ。  
(HL)
- b. 少ししか話せませんでしたけど {ok ネ／\*サ}、彼女のひととなりは分かりました。  
(HL)

他にも丁寧な言葉遣いの際にサの場合の容認度が下がる例はある。

- (43) a. いや {ok ネ／??サ}、新しい情報もあるよ。(H)
- b. いえ {ok ネ／\*サ}、新しい情報もありますよ。(H)

- (44) 私が家に帰りますと {ok ネ／\*サ}、娘が出迎えてくれるんです。(HLH)

森田(2007)によると、ネは女性語として、サは男性語としてしばしば現れる。助詞ネの持つ女性的な性格と助詞サの持つ男性的な性格が、丁寧な言葉遣いに助詞ネ／サが適するかどうかという点に関係していると考えられる。ネがフォーマルな場面に適しているとする、逆に、サはインフォーマルな場面に適しているとも考えることもできる。

- (45) a. 手繫いだばっかなのに {??ネ／ok サ}、もう帰っちゃうの？(H)
- b. 手繫いだばっかなのに {??ネ／ok サ}、もう帰っちゃうの？(L)
- c. 手繫いだばっかなのに {ok ネ／ok サ}、もう帰っちゃうの？(HL)
- d. 手繫いだばっかなのに {\*ネ／??サ}、もう帰っちゃうの？(HLH)

また、助詞ネ／サは終助詞としての働きが大きい助詞である。終助詞として働くときに助詞ネ／サが持つ性質が、文中の文節末に現れるときにも影響しているということも考えられる。

## 7. おわりに

本稿では、文中の文節末に付く助詞ネ／サに着目し、その機能と用法について、容認度調査の結果をもとに考察を行った。容認度調査の結果を分析したところ、助詞ネ／サに前接する品詞やイントネーションによって、容認度の高低やネの場合の容認度とサの場合の容認度の差に違いが生じることが分かった。そしてネの場合とサの場合とで顕著な違いのある例文をいくつか発見することができた。

しかし、例文の数が不十分であったために、十分な考察ができなかった品詞もある。また、文中の文節末に付く助詞は主に話し言葉において用いられるものであるが、本稿の考察においては、聞き手との関係性や言語使用状況については考慮しなかった。これらの要素は話し言葉に大きな影響を与えるものであると考えられる。助詞ネ／サの機能と用法をさらに解明するためにも、今回は考慮しなかったこれらの要素が与える影響を踏まえた考察をすることを今後の課題としたい。

## 8. 参照文献

- 伊豆原英子（2011）「間投助詞はどのように位置づけられてきたか」『愛知学院大学教養部紀要』58(3):1-12. 愛知学院大学教養教育研究会.
- 小野晋・中川裕志（1997）「階層的記憶モデルによる終助詞「よ」「ね」「な」「ぜ」「ぞ」の意味論」『認知科学』4(2):39-57.
- 郡史郎（2016）「間投助詞のイントネーションと間投助詞的イントネーション：型の使い分けについて」『言語文化研究』42:61-84.
- 森田良行（2007）『助詞・助動詞の辞典』東京：東京堂出版.

## 9. 付録

番号	品詞	例文	ネ			サ			結果	差		
			A	B	C	平均	A	B			C	平均
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	2	4	4	3.3	3	5	3	3.7	サ	0.3
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	4	5	5	4.7	4	5	5	4.7	ネ・サ	0.0
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	5	5	5	5.0	5	5	4	4.7	ネ	0.3
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	5	4	5	4.7	3	4	5	4.0	ネ	0.7
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	5	4	5	4.7	4	4	4	4.0	ネ	0.7
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってみたい。	4	2	5	3.7	3	4	5	4.0	サ	0.3
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	5	4	5	4.7	1	2	1	1.3	ネ	3.3
8	助詞	突然なんですが〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	4	4	4	4.0	1	2	1	1.3	ネ	2.7
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	4	4	5	4.3	3	4	1	2.7	ネ	1.7
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	3	1	5	3.0	4	2	4	3.3	サ	0.3
11	助詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	3	1	5	3.0	1	1	1	1.0	ネ	2.0
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	4	2	4	3.3	3	4	3	3.3	ネ・サ	0.0
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	2	2	5	3.0	4	2	4	3.3	ネ	1.7
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	5	4	5	4.7	5	4	5	4.7	ネ・サ	0.0
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただよ。	4	2	3	3.0	2	2	2	2.0	ネ	1.0
16	接続詞	自分じゃ分からないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	4	1	3	2.7	3	1	3	2.3	ネ	0.3
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	4	4	4	4.0	4	4	3	3.7	ネ	0.3
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通してくれないかな。	3	1	4	2.7	3	4	2	3.0	サ	0.3
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともかもしれない。	3	2	4	3.0	4	2	3	3.0	ネ・サ	0.0
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	3	1	5	3.0	4	2	4	3.3	サ	0.3
21	副詞	なんだか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	2	4	4	3.3	4	5	5	4.7	サ	1.3
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	1	4	3	2.7	4	4	4	4.0	サ	1.3
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ってたじゃん？	3	2	5	3.3	4	4	5	4.3	サ	1.0
24	助詞	だいぶ歩いたけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	3	2	4	3.0	4	2	4	3.3	サ	0.3
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	2	2	4	2.7	2	1	1	1.3	ネ	1.3
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	3	2	3	2.7	2	1	2	1.7	ネ	1.0
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	4	1	4	3.0	1	1	1	1.0	ネ	2.0
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	3	4	5	4.0	3	4	1	2.7	ネ	1.3
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	2	2	5	3.0	5	4	5	4.7	サ	1.7
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	2	2	3	2.3	4	4	4	4.0	サ	1.7
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	4	4	5	4.3	4	5	5	4.7	サ	0.3
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	2	2	2	2.0	4	2	1	2.3	サ	0.3
33	助詞	いったん休んどいて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	4	2	3	3.0	4	2	3	3.0	ネ・サ	0.0
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	3	4	4	3.7	4	5	4	4.3	サ	0.7
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	2	2	3	2.3	3	4	4	3.7	サ	1.3
36	助詞	どうすればいいの？〔ネ/サ〕、教えてよ。	3	4	3	3.3	4	4	3	3.7	サ	0.3
37	助詞	私が家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	2	4	2	2.7	1	4	1	2.0	ネ	0.7
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	5	4	5	4.7	4	4	1	3.0	ネ	1.7
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	5	1	5	3.7	5	2	1	2.7	ネ	1.0
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	2	1	4	2.3	1	1	1	1.0	ネ	1.3
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	3	4	5	4.0	2	4	1	2.3	ネ	1.7
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	4	4	4	4.0	4	4	1	3.0	ネ	1.0
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	2	2	3	2.3	3	4	2	3.0	サ	0.7
44	副詞	責任が大きいから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	4	1	5	3.3	5	2	3	3.3	ネ・サ	0.0
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	5	4	5	4.7	4	4	3	3.7	ネ	1.0

表 3: 容認度調査 1 の結果 (H)

番号	品詞	例文	ネ				サ				結果	差
			D	B	C	平均	D	B	C	平均		
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	5	1	4	3.3	5	1	5	3.7	サ	0.3
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	5	1	3	3.0	5	1	5	3.7	サ	0.7
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	5	1	3	3.0	5	1	3	3.0	ネ・サ	0.0
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	5	2	5	4.0	5	4	5	4.7	サ	0.7
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	5	2	5	4.0	5	1	4	3.3	ネ	0.7
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってたみたい。	5	2	5	4.0	5	4	5	4.7	サ	0.7
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	1	2	5	2.7	1	2	1	1.3	ネ	1.3
8	助詞	突然なんですけど〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	5	4	5	4.7	1	1	1	1.0	ネ	3.7
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	4	1	5	3.3	5	1	2	2.7	ネ	0.7
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	4	2	5	3.7	4	2	5	3.7	ネ・サ	0.0
11	助詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	3	2	5	3.3	1	2	1	1.3	ネ	2.0
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	4	4	5	4.3	5	4	5	4.7	サ	0.3
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	5	4	2	3.7	5	4	5	4.7	サ	1.0
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	5	2	3	3.3	5	1	4	3.3	ネ・サ	0.0
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただよ。	4	4	4	4.0	4	2	2	2.7	ネ	1.3
16	接続詞	自分じゃ分らないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	5	4	5	4.7	5	4	5	4.7	ネ・サ	0.0
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	5	4	5	4.7	5	4	5	4.7	ネ・サ	0.0
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通してくれないかな。	5	2	3	3.3	5	1	2	2.7	ネ	0.7
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともしない。	5	2	4	3.7	5	2	5	4.0	サ	0.3
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	5	2	5	4.0	5	4	4	4.3	サ	0.3
21	副詞	なんか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	5	1	5	3.7	5	1	5	3.7	ネ・サ	0.0
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	5	2	3	3.3	5	2	5	4.0	サ	0.7
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ってたじゃん？	5	2	5	4.0	5	2	5	4.0	ネ・サ	0.0
24	助詞	だいぶ埒いたけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	5	4	5	4.7	5	4	5	4.7	ネ・サ	0.0
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	5	4	4	4.3	5	2	1	2.7	ネ	1.7
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	5	4	4	4.3	5	4	2	3.7	ネ	0.7
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	3	4	3	3.3	1	4	1	2.0	ネ	1.3
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	5	4	3	4.0	5	2	1	2.7	ネ	1.3
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	3	2	3	2.7	5	2	5	4.0	サ	1.3
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	5	2	4	3.7	5	2	5	4.0	サ	0.3
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	5	2	5	4.0	5	4	5	4.7	サ	0.7
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	5	4	3	4.0	5	4	1	3.3	ネ	0.7
33	助詞	いったん休んどいて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	5	2	3	3.3	5	2	5	4.0	サ	0.7
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	5	1	4	3.3	5	1	5	3.7	サ	0.3
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	5	2	3	3.3	5	4	4	4.3	サ	1.0
36	助詞	どうすればいいの？〔ネ/サ〕、教えてよ。	5	4	3	4.0	5	4	5	4.7	サ	0.7
37	助詞	私が家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	5	2	4	3.7	5	2	1	2.7	ネ	1.0
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	5	2	5	4.0	5	2	1	2.7	ネ	1.3
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	5	4	4	4.3	5	5	1	3.7	ネ	0.7
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	5	4	5	4.7	1	2	1	1.3	ネ	3.3
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	5	2	5	4.0	5	2	1	2.7	ネ	1.3
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	5	4	4	4.3	5	4	2	3.7	ネ	0.7
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	5	2	4	3.7	5	2	3	3.3	ネ	0.3
44	副詞	責任が大きいから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	5	5	5	5.0	5	5	4	4.7	ネ	0.3
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	5	2	5	4.0	5	1	4	3.3	ネ	0.7

表 4: 容認度調査 1 の結果 (L)

番号	品詞	例文	ネ			サ			結果	差		
			E	D	F	平均	E	D			F	平均
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	5	5	2	4.0	5	5	5	5.0	サ	1.0
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	2	5	1	2.7	5	5	5	5.0	サ	2.3
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	5	5	5	5.0	5	5	3	4.3	ネ	0.7
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってたみたい。	5	5	5	5.0	4	5	2	3.7	ネ	1.3
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	4	5	5	4.7	1	5	1	2.3	ネ	2.3
8	助詞	突然なんですが〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	4	5	5	4.7	1	5	1	2.3	ネ	2.3
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	4	5	3	4.0	5	5	1	3.7	ネ	0.3
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	5	4	5	4.7	3	5	4	4.0	ネ	0.7
11	助詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	3	5	5	4.3	1	1	1	1.0	ネ	3.3
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	5	5	3	4.3	5	5	5	5.0	サ	0.7
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	1	5	3	3.0	5	5	5	5.0	サ	2.0
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	5	5	5	5.0	3	5	5	4.3	ネ	0.7
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただよ。	5	5	4	4.7	4	5	3	4.0	ネ	0.7
16	接続詞	自分じゃ分からないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通して欲しくないかな。	1	5	4	3.3	5	5	3	4.3	サ	1.0
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともしない。	5	5	3	4.3	5	5	5	5.0	サ	0.7
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	4	5	2	3.7	5	5	1	3.7	ネ・サ	0.0
21	副詞	なんだか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	5	5	2	4.0	5	5	5	5.0	サ	1.0
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	3	5	1	3.0	5	5	5	5.0	サ	2.0
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ってたじゃん？	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
24	助詞	だいぶ埒いたけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	2	5	5	4.0	5	5	5	5.0	サ	1.0
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	5	5	4	4.7	4	5	1	3.3	ネ	1.3
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	4	5	5	4.7	2	5	2	3.0	ネ	1.7
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	5	5	5	5.0	1	1	1	1.0	ネ	4.0
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	5	5	5	5.0	1	5	1	2.3	ネ	2.7
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	1	3	1	1.7	5	5	5	5.0	サ	3.3
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	5	5	2	4.0	1	5	5	3.7	ネ	0.3
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	5	5	5	5.0	2	5	5	4.0	ネ	1.0
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	4	5	1	3.3	3	5	1	3.0	ネ	0.3
33	助詞	いったん休んどいて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	1	1	5	2.3	5	5	5	5.0	サ	2.7
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	2	5	5	4.0	4	5	5	4.7	サ	0.7
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	2	5	3	3.3	4	5	5	4.7	サ	1.3
36	助詞	どうすればいいの？〔ネ/サ〕、教えてよ。	5	5	5	5.0	4	5	3	4.0	ネ	1.0
37	助詞	私が家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	5	5	5	5.0	3	5	1	3.0	ネ	2.0
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	5	5	5	5.0	4	5	1	3.3	ネ	1.7
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	5	5	5	5.0	5	5	1	3.7	ネ	1.3
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	5	5	5	5.0	1	3	1	1.7	ネ	3.3
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	4	5	5	4.7	2	5	1	2.7	ネ	2.0
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	2	5	4	3.7	2	5	5	4.0	サ	0.3
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	5	5	4	4.7	2	5	4	3.7	ネ	1.0
44	副詞	責任が大きいから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	5	5	5	5.0	5	5	4	4.7	ネ	0.3
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0

表 5: 容認度調査 1 の結果 (HL)

番号	品詞	例文	ネ				サ				結果	差
			E	G	H	平均	E	G	H	平均		
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	4	1	2	2.3	5	5	3	4.3	サ	2.0
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	1	1	2	1.3	1	5	2	2.7	サ	1.3
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	1	4	2	2.3	1	4	3	2.7	サ	0.3
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	3	5	3	3.7	3	5	4	4.0	サ	0.3
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	1	5	3	3.0	1	4	4	3.0	ネ・サ	0.0
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってみたい。	1	5	3	3.0	1	1	2	1.3	ネ	1.7
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	1	5	3	3.0	1	1	2	1.3	ネ	1.7
8	助詞	突然なんですけど〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	1	5	2	2.7	1	1	1	1.0	ネ	1.7
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	3	4	2	3.0	4	3	2	3.0	ネ・サ	0.0
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	1	5	3	3.0	1	5	2	2.7	ネ	0.3
11	助詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	1	5	3	3.0	1	1	1	1.0	ネ	2.0
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	3	3	3	3.0	3	5	4	4.0	サ	1.0
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	1	3	2	2.0	5	5	4	4.7	サ	2.7
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	4	4	3	3.7	2	5	3	3.3	ネ	0.3
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただよ。	1	4	1	2.0	1	4	1	2.0	ネ・サ	0.0
16	接続詞	自分じゃ分からないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	3	2	2	2.3	3	5	3	3.7	サ	1.3
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっか言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	2	5	2	3.0	2	5	3	3.3	サ	0.3
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通して欲しくないかな。	1	1	3	1.7	5	5	2	4.0	サ	2.3
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともかもしれない。	2	4	1	2.3	2	5	3	3.3	サ	1.0
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	3	2	3	2.7	4	5	3	4.0	サ	1.3
21	副詞	なんだか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	2	4	2	2.7	3	4	3	3.3	サ	0.7
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	2	1	2	1.7	5	5	4	4.7	サ	3.0
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ってたじゃん？	3	1	2	2.0	4	5	4	4.3	サ	2.3
24	助詞	だいぶ歩いたけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	1	1	2	1.3	2	5	4	3.7	サ	2.3
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	1	4	1	2.0	1	3	1	1.7	ネ	0.3
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	2	4	1	2.3	1	1	1	1.0	ネ	1.3
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	2	5	1	2.7	1	1	1	1.0	ネ	1.7
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	2	5	2	3.0	1	1	1	1.0	ネ	2.0
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	1	1	2	1.3	5	5	4	4.7	サ	3.3
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	3	4	2	3.0	1	1	2	1.3	ネ	1.7
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	2	4	2	2.7	4	5	2	3.7	サ	1.0
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	1	3	1	1.7	1	4	2	2.3	サ	0.7
33	助詞	いったん休んどいて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	1	2	1	1.3	3	5	3	3.7	サ	2.3
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	1	2	2	1.7	2	5	4	3.7	サ	2.0
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	3	1	2	2.0	4	5	3	4.0	サ	2.0
36	助詞	どうすればいいの？〔ネ/サ〕、教えてよ。	5	4	1	3.3	4	5	2	3.7	サ	0.3
37	助詞	私が家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	5	5	3	4.3	3	1	1	1.7	ネ	2.7
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	2	5	2	3.0	2	1	2	1.7	ネ	1.3
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	5	4	2	3.7	5	5	3	4.3	サ	0.7
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	1	5	2	2.7	1	1	1	1.0	ネ	1.7
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	4	2	2	2.7	2	1	2	1.7	ネ	1.0
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	1	2	3	2.0	1	2	4	2.3	サ	0.3
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	3	2	2	2.3	1	2	3	2.0	ネ	0.3
44	副詞	責任が大きいから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	3	5	3	3.7	5	4	3	4.0	サ	0.3
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	5	5	2	4.0	5	5	3	4.3	サ	0.3

表 6: 容認度調査 1 の結果 (HLH)



番号	品詞	例文	H		L		HL		HLH	
				差		差		差		差
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	サ	0.3	サ	0.3	サ	1.0	サ	2.0
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	ネ・サ	0.0	サ	0.7	サ	2.3	サ	1.3
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	サ	0.3
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	ネ	0.7	サ	0.7	ネ・サ	0.0	サ	0.3
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	ネ	0.7	ネ	0.7	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってみたい。	サ	0.3	サ	0.7	ネ	1.3	ネ	1.7
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	ネ	3.3	ネ	1.3	ネ	2.3	ネ	1.7
8	助詞	突然なんですけど〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	ネ	2.7	ネ	3.7	ネ	2.3	ネ	1.7
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	ネ	1.7	ネ	0.7	ネ	0.3	ネ・サ	0.0
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	サ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	ネ	0.3
11	助詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	ネ	2.0	ネ	2.0	ネ	3.3	ネ	2.0
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7	サ	1.0
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	サ	1.7	サ	1.0	サ	2.0	サ	2.7
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	ネ	0.7	ネ	0.3
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただいよ。	ネ	1.0	ネ	1.3	ネ	0.7	ネ・サ	0.0
16	接続詞	自分じゃ分からないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	1.3
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっか言ってるのがほかほかしくなっちゃった。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	0.3
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通して欲しくないかな。	サ	0.3	ネ	0.7	サ	1.0	サ	2.3
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともかもしれない。	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7	サ	1.0
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	サ	0.3	サ	0.3	ネ・サ	0.0	サ	1.3
21	副詞	なんだか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	サ	1.3	ネ・サ	0.0	サ	1.0	サ	0.7
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	サ	1.3	サ	0.7	サ	2.0	サ	3.0
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ってたじゃん？	サ	1.0	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	2.3
24	助詞	だいぶ歩いたけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	サ	0.3	ネ・サ	0.0	サ	1.0	サ	2.3
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	ネ	1.3	ネ	1.7	ネ	1.3	ネ	0.3
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	ネ	1.0	ネ	0.7	ネ	1.7	ネ	1.3
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	ネ	2.0	ネ	1.3	ネ	4.0	ネ	1.7
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	ネ	1.3	ネ	1.3	ネ	2.7	ネ	2.0
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	サ	1.7	サ	1.3	サ	3.3	サ	3.3
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	サ	1.7	サ	0.3	ネ	0.3	ネ	1.7
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	サ	0.3	サ	0.7	ネ	1.0	サ	1.0
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	サ	0.3	ネ	0.7	ネ	0.3	サ	0.7
33	助詞	いったん休んどいて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	ネ・サ	0.0	サ	0.7	サ	2.7	サ	2.3
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	サ	0.7	サ	0.3	サ	0.7	サ	2.0
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	サ	1.3	サ	1.0	サ	1.3	サ	2.0
36	助詞	どうすればいいの？〔ネ/サ〕、教えてよ。	サ	0.3	サ	0.7	ネ	1.0	サ	0.3
37	助詞	私に家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	ネ	0.7	ネ	1.0	ネ	2.0	ネ	2.7
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	ネ	1.7	ネ	1.3	ネ	1.7	ネ	1.3
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	ネ	1.0	ネ	0.7	ネ	1.3	サ	0.7
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	ネ	1.3	ネ	3.3	ネ	3.3	ネ	1.7
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	ネ	1.7	ネ	1.3	ネ	2.0	ネ	1.0
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	ネ	1.0	ネ	0.7	サ	0.3	サ	0.3
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	サ	0.7	ネ	0.3	ネ	1.0	ネ	0.3
44	副詞	責任が大きいから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	ネ・サ	0.0	ネ	0.3	ネ	0.3	サ	0.3
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	ネ	1.0	ネ	0.7	ネ・サ	0.0	サ	0.3

表 7: 容認度調査 1 の結果 (ネとサの比較)

番号	品詞	例文	ネ				サ			
			H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
1	接続詞	転校生は男かな、それとも〔ネ/サ〕、女かな。	3.3	3.3	4.0	2.3	3.7	3.7	5.0	4.3
2	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、かわいいよね。	4.7	3.0	2.7	1.3	4.7	3.7	5.0	2.7
3	副詞	まるで〔ネ/サ〕、夢のようだったよ。	5.0	3.0	5.0	2.3	4.7	3.0	4.3	2.7
4	接続詞	でも〔ネ/サ〕、良いところもあると思うよ。	4.7	4.0	5.0	3.7	4.0	4.7	5.0	4.0
5	助詞	友達に〔ネ/サ〕、送ってもらったんだ。	4.7	4.0	5.0	3.0	4.0	3.3	5.0	3.0
6	副詞	いつの間にか〔ネ/サ〕、寝ちゃってたみたい。	3.7	4.0	5.0	3.0	4.0	4.7	3.7	1.3
7	感動詞	なるほど〔ネ/サ〕、君の言う通りだ。	4.7	2.7	4.7	3.0	1.3	1.3	2.3	1.3
8	助詞	突然なんですが〔ネ/サ〕、ご報告したいことがあります。	4.0	4.7	4.7	2.7	1.3	1.0	2.3	1.0
9	感動詞	いや〔ネ/サ〕、新しい情報もあるよ。	4.3	3.3	4.0	3.0	2.7	2.7	3.7	3.0
10	助詞	少ししか話せなかったけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かったよ。	3.0	3.7	4.7	3.0	3.3	3.7	4.0	2.7
11	接続詞	少ししか話せませんでしたけど〔ネ/サ〕、彼女のひととなりは分かりました。	3.0	3.3	4.3	3.0	1.0	1.3	1.0	1.0
12	副詞	なんか〔ネ/サ〕、雨降りそうじゃない？	3.3	4.3	4.3	3.0	3.3	4.7	5.0	4.0
13	助詞	これって〔ネ/サ〕、盗撮じゃない？	3.0	3.7	3.0	2.0	4.7	4.7	5.0	4.7
14	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類らしいよ。	4.7	3.3	5.0	3.7	4.7	3.3	4.3	3.3
15	接続詞	この機会を活かすか、それとも〔ネ/サ〕、無駄にするか、君しただいよ。	3.0	4.0	4.7	2.0	2.0	2.7	4.0	2.0
16	接続詞	自分じゃ分からないのかな？それとも〔ネ/サ〕、わざとやってるのかな。	2.7	4.7	5.0	2.3	2.3	4.7	5.0	3.7
17	副詞	なんか〔ネ/サ〕、暗いことばっかり言ってるのがばかばかしくなっちゃった。	4.0	4.7	5.0	3.0	3.7	4.7	5.0	3.3
18	接続詞	あるいは〔ネ/サ〕、予約済みの人を先に通してほしくないかな。	2.7	3.3	3.3	1.7	3.0	2.7	4.3	4.0
19	接続詞	九州、あるいは〔ネ/サ〕、福岡だけのこともかもしれない。	3.0	3.7	4.3	2.3	3.0	4.0	5.0	3.3
20	接続詞	もしくは〔ネ/サ〕、もう化粧するのやめようかな。	3.0	4.0	3.7	2.7	3.3	4.3	3.7	4.0
21	副詞	なんだか〔ネ/サ〕、おもしろいね。	3.3	3.7	4.0	2.7	4.7	3.7	5.0	3.3
22	助詞	クジラって〔ネ/サ〕、哺乳類なの？	2.7	3.3	3.0	1.7	4.0	4.0	5.0	4.7
23	副詞	いつだったか〔ネ/サ〕、言ったじゃない？	3.3	4.0	5.0	2.0	4.3	4.0	5.0	4.3
24	助詞	だいたい歩いてけど〔ネ/サ〕、本当にこの先に店があるの？	3.0	4.7	4.0	1.3	3.3	4.7	5.0	3.7
25	助詞	初対面だが〔ネ/サ〕、俺はすでに君のことが嫌いだ。	2.7	4.3	4.7	2.0	1.3	2.7	3.3	1.7
26	助詞	人間では〔ネ/サ〕、鬼には勝てない。	2.7	4.3	4.7	2.3	1.7	3.7	3.0	1.0
27	助詞	そりゃそうよ〔ネ/サ〕、当然か。	3.0	3.3	5.0	2.7	1.0	2.0	1.0	1.0
28	副詞	やはり〔ネ/サ〕、僕の思った通りだ。	4.0	4.0	5.0	3.0	2.7	2.7	2.3	1.0
29	助詞	注射って〔ネ/サ〕、血を抜くときより、薬を入れるときの方が痛くない？	3.0	2.7	1.7	1.3	4.7	4.0	5.0	4.7
30	接続詞	それなら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	2.3	3.7	4.0	3.0	4.0	4.0	3.7	1.3
31	接続詞	だって〔ネ/サ〕、好きな気持ちは抑えられないんだもん。	4.3	4.0	5.0	2.7	4.7	4.7	4.0	3.7
32	副詞	すぐ〔ネ/サ〕、泣き出すんだから。	2.0	4.0	3.3	1.7	2.3	3.3	3.0	2.3
33	助詞	いったん休んできて〔ネ/サ〕、また明日がんばろうよ。	3.0	3.3	2.3	1.3	3.0	4.0	5.0	3.7
34	助詞	この花好きだから〔ネ/サ〕、本当に嬉しい。	3.7	3.3	4.0	1.7	4.3	3.7	4.7	3.7
35	助詞	こんなところで〔ネ/サ〕、どうしたの？	2.3	3.3	3.3	2.0	3.7	4.3	4.7	4.0
36	助詞	どうすればいいの〔ネ/サ〕、教えてよ。	3.3	4.0	5.0	3.3	3.7	4.7	4.0	3.7
37	助詞	私が家に帰りますと〔ネ/サ〕、娘が出迎えてくれるんです。	2.7	3.7	5.0	4.3	2.0	2.7	3.0	1.7
38	感動詞	ほら〔ネ/サ〕、はっきり見えるでしょ。	4.7	4.0	5.0	3.0	3.0	2.7	3.3	1.7
39	感動詞	いや〔ネ/サ〕、それはおかしくない？	3.7	4.3	5.0	3.7	2.7	3.7	3.7	4.3
40	連語	すまない〔ネ/サ〕、私のせいで。	2.3	4.7	5.0	2.7	1.0	1.3	1.7	1.0
41	接続詞	では〔ネ/サ〕、素晴らしい提案をしよう。	4.0	4.0	4.7	2.7	2.3	2.7	2.7	1.7
42	接続詞	それだったら〔ネ/サ〕、みんな納得してくれるだろうね。	4.0	4.3	3.7	2.0	3.0	3.7	4.0	2.3
43	副詞	本来、なんか〔ネ/サ〕、その方が脳には良いらしいね。	2.3	3.7	4.7	2.3	3.0	3.3	3.7	2.0
44	副詞	責任が大きすぎるから、けっこう〔ネ/サ〕、大変なんですよ。	3.3	5.0	5.0	3.7	3.3	4.7	4.7	4.0
45	助詞	こうやって並べると〔ネ/サ〕、大きさの違いが分かりやすいんだよ。	4.7	4.0	5.0	4.0	3.7	3.3	5.0	4.3

表 8: 容認度調査 1 の結果 (イントネーションによる比較)

番号	品詞	例文	5				サ				結果	差
			C	H	I	平均	C	H	I	平均		
46	連語	それなのに〔ネ/サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	2	5	5	4.0	3	5	5	4.3	サ	0.3
47	接続詞	だけど〔ネ/サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
48	接続詞	それでも〔ネ/サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
49	連語	手繋いだばっかなのに〔ネ/サ〕、もう帰っちゃうの？	2	4	1	2.3	4	5	5	4.7	サ	2.3
50	感動詞	さあ〔ネ/サ〕、僕にはよく分からないよ。	5	5	5	5.0	1	1	1	1.0	ネ	4.0
51	感動詞	いえ〔ネ/サ〕、新しい情報もありますよ。	4	4	5	4.3	1	1	1	1.0	ネ	3.3
52	助詞	妹が〔ネ/サ〕、年末に帰ってくるんだ。	5	5	5	5.0	4	5	5	4.7	ネ	0.3
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ/サ〕、飼いやすいと思わない？	5	4	5	4.7	5	5	5	5.0	サ	0.3

表 9: 容認度調査 2 の結果 (H)

番号	品詞	例文	ネ				サ				結果	差
			C	H	I	平均	C	H	I	平均		
46	接続詞	それなのに〔ネ/サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	2	4	5	3.7	4	5	5	4.7	サ	1.0
47	接続詞	だけど〔ネ/サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	5	4	5	4.7	5	5	5	5.0	サ	0.3
48	接続詞	それでも〔ネ/サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
49	接続詞	手繋いだばっかなのに〔ネ/サ〕、もう帰っちゃうの？	3	3	1	2.3	4	5	5	4.7	サ	2.3
50	感動詞	さあ〔ネ/サ〕、僕にはよく分からないよ。	5	5	5	5.0	1	1	1	1.0	ネ	4.0
51	感動詞	いえ〔ネ/サ〕、新しい情報もありますよ。	5	2	5	4.0	1	1	1	1.0	ネ	3.0
52	助詞	妹が〔ネ/サ〕、年末に帰ってくるんだ。	5	5	5	5.0	5	5	5	5.0	ネ・サ	0.0
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ/サ〕、飼いやすいと思わない？	5	5	5	5.0	5	4	5	4.7	ネ	0.3

表 10: 容認度調査 2 の結果 (L)

番号	品詞	例文	ネ				サ				結果	差
			C	H	I	平均	C	H	I	平均		
46	連語	それなのに〔ネ／サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	3	3	5	3.7	4	5	5	4.7	サ	1.0
47	接続詞	だけど〔ネ／サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	5	4	5	4.7	5	5	5	5.0	サ	0.3
48	接続詞	それでも〔ネ／サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	5	4	5	4.7	5	5	5	5.0	サ	0.3
49	連語	手繋いだばっかなのに〔ネ／サ〕、もう帰っちゃうの？	3	4	5	4.0	4	5	5	4.7	サ	0.7
50	感動詞	さあ〔ネ／サ〕、僕にはよく分からないよ。	5	5	5	5.0	1	1	1	1.0	ネ	4.0
51	感動詞	いえ〔ネ／サ〕、新しい情報もありますよ。	5	4	5	4.7	1	1	5	2.3	ネ	2.3
52	助詞	妹が〔ネ／サ〕、年末に帰ってくるんだ。	5	4	5	4.7	4	5	5	4.7	ネ・サ	0.0
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ／サ〕、飼いやすいと思わない？	4	2	5	3.7	5	5	5	5.0	サ	1.3

表 11: 容認度調査 2 の結果 (HL)

番号	品詞	例文	ネ				サ				結果	差
			C	H	I	平均	C	H	I	平均		
46	連語	それなのに〔ネ／サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	4	3	5	4.0	4	5	5	4.7	サ	0.7
47	接続詞	だけど〔ネ／サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	3	1	5	3.0	3	4	5	4.0	サ	1.0
48	接続詞	それでも〔ネ／サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	4	1	5	3.3	4	3	5	4.0	サ	0.7
49	連語	手繋いだばっかなのに〔ネ／サ〕、もう帰っちゃうの？	3	1	1	1.7	4	1	5	3.3	サ	1.7
50	感動詞	さあ〔ネ／サ〕、僕にはよく分からないよ。	3	1	5	3.0	1	1	5	2.3	ネ	0.7
51	感動詞	いえ〔ネ／サ〕、新しい情報もありますよ。	3	4	5	4.0	1	1	5	2.3	ネ	1.7
52	助詞	妹が〔ネ／サ〕、年末に帰ってくるんだ。	4	3	5	4.0	4	3	5	4.0	ネ・サ	0.0
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ／サ〕、飼いやすいと思わない？	2	1	4	2.3	3	4	5	4.0	サ	1.7

表 12: 容認度調査 2 の結果 (HLH)

番号	品詞	例文	H		L		HL		HLH	
			サ	差	サ	差	サ	差	サ	差
46	接続詞	それなのに〔ネ／サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	サ	0.3	サ	1.0	サ	1.0	サ	0.7
47	接続詞	だけど〔ネ／サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.3	サ	1.0
48	接続詞	それでも〔ネ／サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	サ	0.3	サ	0.7
49	接続詞	手繋いだばっかなのに〔ネ／サ〕、もう帰っちゃうの？	サ	2.3	サ	2.3	サ	0.7	サ	1.7
50	感動詞	さあ〔ネ／サ〕、僕にはよく分からないよ。	ネ	4.0	ネ	4.0	ネ	4.0	ネ	0.7
51	感動詞	いえ〔ネ／サ〕、新しい情報もありますよ。	ネ	3.3	ネ	3.0	ネ	2.3	ネ	1.7
52	助詞	妹が〔ネ／サ〕、年末に帰ってくるんだ。	ネ	0.3	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0	ネ・サ	0.0
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ／サ〕、飼いやすいと思わない？	サ	0.3	ネ	0.3	サ	1.3	サ	1.7

表 13: 容認度調査 2 の結果 (ネとサの比較)

番号	品詞	例文	ネ				サ			
			H	L	HL	HLH	H	L	HL	HLH
46	連語	それなのに〔ネ／サ〕、あんなことを言うなんて、信じられないよ。	4.0	3.7	3.7	4.0	4.3	4.7	3.7	4.7
47	接続詞	だけど〔ネ／サ〕、それってあの子のためにならないんじゃない？	5.0	4.7	4.7	3.0	5.0	5.0	4.7	4.0
48	接続詞	それでも〔ネ／サ〕、せめてそれなりの誠意は見せてほしかったよ。	5.0	5.0	4.7	3.3	5.0	5.0	4.7	4.0
49	連語	手繋いだばっかなのに〔ネ／サ〕、もう帰っちゃうの？	2.3	2.3	4.0	1.7	4.7	4.7	4.0	3.3
50	感動詞	さあ〔ネ／サ〕、僕にはよく分からないよ。	5.0	5.0	5.0	3.0	1.0	1.0	5.0	2.3
51	感動詞	いえ〔ネ／サ〕、新しい情報もありますよ。	4.3	4.0	4.7	4.0	1.0	1.0	4.7	2.3
52	助詞	妹が〔ネ／サ〕、年末に帰ってくるんだ。	5.0	5.0	4.7	4.0	4.7	5.0	4.7	4.0
53	助詞	犬より猫の方が〔ネ／サ〕、飼いやすいと思わない？	4.7	5.0	3.7	2.3	5.0	4.7	3.7	4.0

表 14: 容認度調査 2 の結果 (イントネーションによる比較)

## 謝辞

本論文を作成するにあたり、ご指導をいただいた上山あゆみ教授に心より感謝いたします。  
丁寧かつ的確な助言を賜り、大きな不安もなく本論文を書き上げることができました。

また、容認度調査に協力してくださった友人や後輩の皆さま、助言をくださった研究室の  
皆さまに深く感謝いたします。